

「きづいてよ ぼくの心の さびしさに」

(湖西中学校3年 石丸 竜裕さん)

子ども虐待防止活動の一環として、昨年7月に募集した標語の中から、毎月1作品をご紹介します。

相談先

子ども家庭相談課 ☎(25)85517、市役所代表 ☎(25)80000
 働く女性の家 相談予約電話 ☎(22)40522
 滋賀県中央子ども家庭相談センター【女性相談】 ☎077(5)647867
 滋賀県立男女共同参画センター【女性センター】 ☎074(8)37(8)739

誰にも話せない…と一人で悩みを抱えていますか？でも、どうしていいのかわからない…。そんなとき、女性のカウンセラーが、あなたの悩みを一緒に考え、ご相談に応じます。あなたの気持ち、少しでも楽になれるように、次の一歩を踏み出す勇気が出るように、あなたが抱える問題は、あなた一人の問題ではなく、私たち女性みんなの問題です。安心してお気軽にご相談ください。

女性の相談窓口が増えました

いつでもあなたを応援します

あなたがあなたらしく生きていくために…



シリーズ STOP THE 暴力⑤

働く女性の家

「女性のための」 「悩み相談室」

女性のための悩み相談は、その人自身が抱える問題だけでなく、文化や社会制度の中で「女性として」育てられ、「女性として」扱われることによる共通の問題が背景にあるという視点で相談にあっています。相談者の悩みを受け止めながら、相談者自身が気づいてこなかった願望や個人の能力を引き出し、解決に向かうためにお手伝いをします。

【予約電話】 (22) 4052

■相談日時 毎週水曜日 13:30~16:30
 ■相談場所 働く女性の家

※一人1回50分で、予約が必要です。
 ※基本的に面接相談ですが、電話でも相談に応じます。
 ※秘密は堅く守られます。

シリーズ 現場から⑨

けんかのあとは なかなかおり

～なべり合ひ事件?～



「先生ー！先生ー！」とグラウンドの端から大声で呼ぶF君の声。指導員が行ってみると、仲間に囲まれた中心で向かい合っているA君とB君。B君は涙目になりながら、今にもなべりかかろうとする勢いでにらんでいる。そして、A君も涙を流し、B君を見つめる。

どうやらボールをホームで受けたのと、B君が走りこんできたのと、どっちが早かったのか、アウトかセーフかでもめたらしい。しかも、2塁の離れたところからA君がアウトと言ったように、B君は「そんな遠くからは見えなかったはずやー」と。

「だってな、ホームの近くにいるD君がアウトって言ったから、アウトやと思ったんやもん」とA君は言う。するとB君が「そんなことさっき言ってなかったやん。そいつのことなら」と少し納得した様子。負けん気の強いB君と、勝ち負けよりも楽しむことが大事だと思っているA君。正反対の二人がお互いのことが少し分かって、距離が近づいた事件でした。

子どもたちがけんかをして怪我をすると、現場にいる大人は当然責任を感じます。しかし、だからといって安全管理にばかりとられ、けんかを恐れてトラブルになる前に止めていては、問題を解決する方法を学ばないままに子どもたちは成長してしまいます。子どもたちは自分で育つ力をしっかりと持っています。

私たち学童指導員は、子どもたちが、子どもたち同士で育ち合うということを大切にしていきたいと考えています。もちろん、指導員の見守りの中で…。

※シリーズ「現場から」または本ページのご意見、ご感想をファクスまたは電子メールでお寄せください。ファクス番号は(25)5490、メールのアドレスはkodomo@city.takashima.shiga.jpです。

子育てヒーロー

気軽にお越しください！ファミリーデー

各地域の子育て支援センターが「季節に応じた様々な行事や旬の事業」を紹介する

みんなで
子育て
親育ち！



地域で
子育て
親育ち！



朽木地域子育て支援センターでは、年8回、土曜日と日曜日に「ファミリーデー」を開催しています。平日は仕事で忙しいお父さんお母さんが一緒に子どもと触れ合い、家族揃って楽しく遊べる広場となっています。広い園庭やプレイルームでは存分に体を動かして遊び、夏には水遊び、冬には雪遊びなども楽しんでいます。日頃、顔を合わすことのないお父さん同士の会話も弾みます。また、お父さんに子育てに参加してもらおうと知らなかった子どもの一面を見つけ、我が子の成長を実感してもらったり、お母さんたちには少し息を抜いておもちやづくりなどを楽しんでもらったりしています。家族みんながリラックスして楽しいひとときを過ごせたことが大変嬉しかったという感想もいただいています。

家庭では休みの日も雑用に追われて子どもとゆっくり向き合えないという方も、また朽木地域以外の方もぜひ一度「ファミリーデー」を覗いてみてください。お待ちしています。今年度は、2月23日土曜日(10時～正午)が最終です。

子育て奮闘中の保護者が綴るコラム

子育ての 子どもの こい話

我が娘は 「自己中」



うちの娘はちょうど3歳。自己中そのものです。洗濯物を干しているところ「ちよっここちよっこ。一緒にあそぼ。」と娘。「これ終わってから遊んであげる。」とちよっと待って。早く終わるようちよっつと「早く終わるよ。」と叫ぶ。「いやいや！一緒にあそぼ！」と聞く耳持たず…。何とか遠ざけようとしてあれこれ策を練ってみますが、ダメです。結局、洗濯物干し・朝ご飯の片づけ・掃除・お風呂洗いを終えるのに2時間。

「あ〜30分ほどで出来ることなのに。(涙！)」

「あ〜したいこといっぱいあるのに。(涙、涙！！)」

いったいいつになったら、思うように事が進むのか!?

でも、そんなことばかりだったある日、一人もくもくとブロックをつないでレールを作っています。前日、私と2人でしたブロック遊びです。少し遊んだだけなのに、今度は自分なりにその遊びを膨らませています。おもちゃを買い与えるとき、あれこれ考えて、時間をかけて選ぶけれど、その選ぶことにかけて時間よりも、どれだけ一緒に遊ぶ時間を作ってやるかが大切なのだ、雑事に追われ忘れていたことを改めて思い出しました。

支援センターに行く、家とは違い本当に子どものことだけに集中できます。たとえ家事は途中で、自分も落ち着いて子どもを満足させてやる事ができます。思い立った時にいつでも行ける！本当にありがたいことです。これから天候の荒れる日も多くなるので、どんどん活用させていたただきたいと思っています。

=子育て支援センターへの問い合わせ=

- マキノ地域(マキノ児童館内) ☎(27)8187
- 安曇川地域(古賀保育園内) ☎(33)1540
- 今津地域(今津東保育園内) ☎(22)4833
- 高島地域(高島保育園内) ☎(36)0660
- 朽木地域(朽木保育園内) ☎(38)2070
- 新旭地域(大師山さくら園内) ☎(25)3399